

※※掲載しているイベント・休館日などの情報は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて中止または変更になる場合があります。最新の情報は図書館ホームページをご確認ください※※



中央図書館 Tel 24-1507

### 【7月の休館日】

5日(月)・12日(月)・19日(月)・22日(木)・23日(金)・  
26日(月)・29日(木)

## 八郷総合支所の2階に誕生する 新図書館の名称を募集します



豊かな自然に育まれたふるさと“いしおか”の魅力を再発見！  
「観光」「歴史」「農産業」隣接した農村資料館と連携し、より深い学びができる図書館を目指して準備を進めています。

この新図書館が、子どもから大人まで、多くの皆さんに親しまれるものとなるよう、名称を募集します。

**募集期間：**7月1日(木)～24日(木) (当日消印有効)

**応募方法：**応募用紙に記入の上、図書館へ持参または郵送  
※応募用紙は、中央図書館ほか市内公民館などに設置  
※図書館のホームページからも応募可能

### 【7月のイベント】

#### ナイト・ライブラリー・ツアー開催！

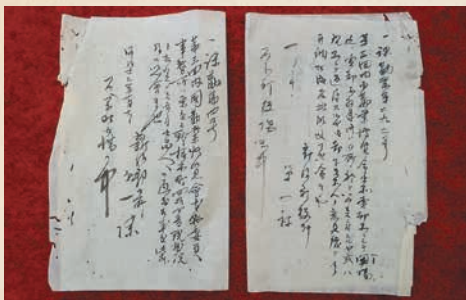
夜の図書館へご案内！普段は入れないバックヤードや屋上へ行ってみよう！

**日時：**①7月28日(木) ②8月3日(木)  
いずれも午後7時30分～

**対象：**親子で各日10組

**申込：**7月1日(木)から電話で受付

名称募集、イベントの詳細、資料検索・予約は図書館公式HPで  
<http://lib.city.ishioka.lg.jp>



▲内国勧業博覧会関連史料

## 時の記憶

シリーズ188

### 「石岡の醤油を全国へ —内国勧業博覧会関連史料—」

文化振興課(支所)

Tel 43-1111 (内線1324)

近世から近代の石岡を代表する産業に酒・醤油などの醸造業があります。その内、醤油は明治末期を境に衰退してしまいます。その原因は野田等の生産地と比べ東京などへの販路拡大に熱心でなかったためといわれています。

しかしながら、近年石岡の醤油醸造業も無抵抗ではなかったということがわかってきました。

石岡を代表する醸造家の一人である村田宗右衛門(むらたそうえもん)関連の文書群から内国勧業博覧会関連の史料が見つかりました。内国勧業博覧会は国内産業の発展・交流を目的とし、各地の特産品や美術工芸品などを集め開催されました。明治期に5回開催されていますが、今回見つかった史料は明治23年(1890)の第3回に出展した際の文書の控えと思われる。この史料によれば、石岡からは村田宗右衛門と一色宗十郎(いっしきむねじゅうろう)が醤油を出展しています。販路拡大に消極的な商人が多い中、その流れに抗(あが)い石岡の醤油を全国に広めようとした醸造家も存在したということを示しており、近代石岡の商業の新たな一面を教えてくれる貴重な史料です。

ふるさと歴史館では、村田宗右衛門家に残された文書・書籍などから豪商の姿を探る展示を開催中です。

# 文芸いしおか

## 俳句

### いしおか俳句同好会

玄閑に朝摘み薔薇と除菌液  
子が気付く親の体調新茶汲む  
母の日の笑顔と届く花の束  
村中の良き出来栄の植田風

小泉 ちよ子(東光台)  
山口 美津子(総社)  
四日市 ゆみ子(旭台)  
若色 茂(山崎)

### やさと俳句会

繰り返す死者との対話ほととぎす  
麦笛に安房の姉さの便り来る  
若竹の天を突き刺す穂先かな  
常陸路の八方に見ゆ植田かな

馬場 小零(片岡)  
岡村 素泡(柿岡)  
中島 れい子(部原)  
荒井 栗山(山崎)

## 川柳

### いしおか川柳会

いい便りくるぞとポスト三回目  
普段着が一番似合うお母ちゃん  
この歳で身軽にステップ踏んでみる

石塚 芳華(石岡)  
岡野 はつ子(小幡)  
小川 義隆(大増)

## 短歌

### 石岡短歌同好会

木下かげ一群やさし花すみれ咲き匂ふなりあふるるばかり  
筋とりてスナップエンドウ弾けたり緑玉となりおちて転がる  
里からのふきや筍届きたる五十息子らうまみ知りたり

木村 満佐(南台)  
木間塚 具子(井関)  
大嶋 全江(高浜)

## 俚謡(都々逸)

### 石岡俚謡会

梅雨の晴れ間が 気になる畑 ナスもキュウリも 愛おしい  
あの娘十八 番茶も出花 魅力愛嬌 片えくぼ  
雨が降らない つかの間狙い 進む今年の 梅仕事  
蔵でみつけた 和綴じの文書 先祖代々を 語り出す  
脱いだくつ下 片方どこへ 母の小言が 響く朝

前島 節子(川又)  
高橋 真希(細谷)  
小川野 蛙(府中)  
川崎 洋子(若松)  
石塚 芳華(石岡)

梅雨の晴れ間に 母連れ出して ちよつと派手めの 服を買  
ホツとくつろぐ 田んぼの隅で 田植え済ませて 飲む新茶  
新茶贈るか 会社の上司 うちが葬儀の 古茶を飲む  
家族総出の 田植を済ませ 孫の手料理 和む膳

醍醐 正夫(東大橋)  
若色 茂(山崎)  
前島 くに子(貝地)  
和む膳

## 投稿作品

平凡と言う幸せや新茶の香  
鈴蘭は小さきがよし風ふるえ  
皓皓と巡る望月如何に見んコロナに混乱している地球  
今日も聞こえる 夕焼け小焼け 筑波山には 秋の風

川崎 夫久(真家)  
森田 愛子(府中)  
鈴木 君江(山崎)  
赤津 貞行(石岡)

## 第32回 石岡三曲協会

私たち石岡三曲協会の会員は、一年を通して箏(琴)、三絃(三味線)、尺八での合奏の研鑽を積んでいます。石岡市文化祭では演奏会を行ない、また、まちの文化一日体験では市民の皆さんに楽器に触れていただいたり、簡単な曲に挑戦していただいたりと一緒に楽しんでいます。

演奏会の舞台は一見華やかに映りますが、発表までには何度も練習を重ね、音が飛び出さない“間”の取り方や、楽譜の再検討などを行います。演奏する曲には30分程の長いものもありますが、通常は13分程度に抜粋したものを

## 文化協会だより



聴いていただいています。

当会でも、やはりコロナ禍の影響はありますが、飛沫の防止や換気に努めながら短時間で集中して練習するよう心掛けています。

会員数：41人 年会費：2,000円  
岡川村美津子 Tel 22-2597